



令和5年7月26日発行

白保小学校 保健室



第1回学校保健委員会を行いました

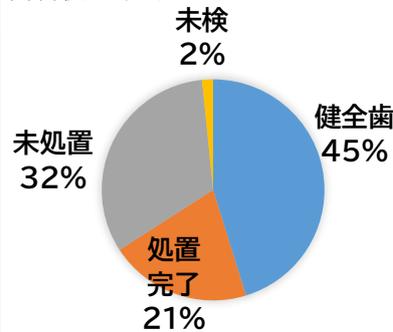
夏休み入ってすぐの7月25日(水)19時から「学校保健委員会」が開かれました。学校保健委員会は、学校職員、保護者代表、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、白保駐在巡查のメンバーで「幼児児童の健康・安全の保持増進のために諸課題について研究協議することを目的としています。この日は学校医の鈴木先生、学校歯科医の内田先生が来校され、様々な健康諸課題へのご助言を頂きました。少しではありますが、本委員会で話し合われたことや、全保護者に共通しておきたい内容を、ここでご紹介したいと思います。幼児児童の健康課題を知って頂き、「自分の子ども」からできる解決策を見つけて頂きたいと思います。

保健から

今年度歯科検診結果より、むし歯がある児童が41名(32%)。むし歯の総本数は95本。特に低学年でのむし歯が多く、すでに永久歯がむし歯になっている子も。

現在、治療受診率は2%。今年はむし歯治療率50%を目標に掲げています！夏休み期間にむし歯を治療しましょう！また2学期に「治療状況調査」を実施したいと思しますのでご協力お願いします★

歯科検査平均



安全から

旧校舎の老朽化は毎年課題に上がりますが改善は見られず。。子ども達が使用している滑り台付き遊具も支柱が錆びて断裂している箇所がいくつもありこのまま遊ばせていたら、いつか倒壊の恐れがあると判断し、委員会へ撤去申請を行いました。なので、撤去されるまでの間、滑り台付遊具は使用禁止となりますのでご理解ください。

【学校医より助言】

視力の再受診率が昨年度に比べ上がっていることはとても良いこと。また学校には低視力児童を把握し、教室の席配置を配慮して欲しい。見えないことから学習に集中できず勉強嫌いになることもある。また牛乳の残量については、子ども時代に牛乳飲んでいない方が年を取り骨粗鬆症になっている。子どもの頃に牛乳を飲む機会が少ないと大人になって更に飲まなくなる。是非、子ども達に必要性を伝え飲む習慣がつくことを期待したい。

【学校歯科医より助言】

むし歯の治療率が上がらないのは、長年の課題である。また現在は高校生まで歯科治療は無料になっているにも関わらず治療率が上がらないという実態がある。親がむし歯だらけなら、子どものむし歯にも危機感は低くなる。是非面談等でむし歯治療を呼びかけて頂き、口腔衛生の改善をお願いしたい。

給食から

児童の食の実態として、酸味のある和え物や雑炊の残量が多いことや、エプロンセットの忘れものが多いということが分かりました。また特に議論されたのが「牛乳の残量」についてです。毎日20~30本以上の残量があり、なぜ飲まないのか？どう改善するか？で話し合いがもたれました。普段から家庭で飲まない子や、乳糖不耐症などの牛乳を飲むとお腹が痛くなる子、給食時間が短く飲めない子がいるのではとなり、実態把握と牛乳の必要性を伝える工夫(講話など)の取組が大切との提案がされました。苦手なことにも「一口チャレンジ」を家庭でも伝えて頂けたらと思います★



幼稚園から

幼稚園からは、先日の不審者対応訓練を受けて、通常は職員一人体制の中、実際に幼稚園に不審者が侵入した際、どのように応援要請をすればよいかの声がありました。無線やブザーの設置、防犯グッズの購入などを検討したいとありました。

